

野崎@神戸まちづくり研究所です。

昨日の委員会では時間が無く発言しませんでしたのでメールにて意見を述べさせていただきます。

- 1) 今次の総合計画をとりまく4つの時代潮流が記述されているが、人口減少社会の到来が欠落しているように思う。2005年をピークに減少局面に突入して最初の総合計画であるという視点が(触れられている文章もあるが)希薄であるのは理解に苦しむ。これまでの施策の大きな方向転換を迫られていることを考えれば、今回の総合計画は、新たな長期的方向性を示す(或いは予感させる)ものでなくてはならないのではないだろうか。
- 2) 都市空間部会においては、今後進行するであろう土地利用の低密度化に伴う都市空間の再構成を取り上げ、成熟した未来の望ましい都市空間ビジョンを提示することが重要であると思う。
- 3) 市民生活部会においては、「つながり」「思いやり」など人口急増期に失った価値観を取り戻すことで人口減少社会のなかで希望のもてるビジョン提示が求められると思う。